



400系山形新幹線

◆実車ガイド

- ・400系は1990年に山形新幹線用の車両として登場しました
- ・山形新幹線では新幹線から在来線に乗り入れる新在直通運転を行うため、400系では従来の新幹線用車両とは異なる短い車体長と小さな車体断面が採用されています
- ・東北新幹線区間を走行する際は200系などの新幹線車両と連結するため、411形の前頭部には格納式の連結器を装備していました
- ・登場時は6両編成でしたが、1995年に輸送力増強のために429形を増結し、7両編成となりました
- ・1999年頃より、新庄延伸を機に登場したE3系1000番代に準じた塗装に順次変更され、2001年に登場時からの塗装は消滅しました



写真：マシマ・レイルウェイ・ピクチャーズ

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

【文責：トミーテック】

◆ここがポイント

POINT:1

登場時の塗装で7両化された400系新幹線を再現、先頭車の車体は新規製作



写真：マシマ・レイルウェイ・ピクチャーズ

POINT:2

411形の前頭部にはTNカプラーを搭載、200系新幹線K編成との併結運転が可能



※画像は旧製品で、200系の運転席側面窓は固定式の1枚窓になります

※各画像は実車および旧製品です 実際の製品仕様とは異なる場合があります

◆製品化特徴

- ・メタリックグレーに緑帯の登場時の塗装で7両へと増結された後の姿を再現
- ・先頭車の車体は新規製作で再現
- ・先頭車の遮光ケースは構造を変更、新規製作で再現
- ・車体側面にある400ロゴマークは印刷済み
- ・各車両の連結面側にはフック・U字型通電カプラーを採用
- ・ヘッド・テールライトは常点灯基板装備、411形はON-OFFスイッチ付
- ・ヘッドライトは電球色、テールライトは赤色に点灯
- ・可動幌装備
- ・車番は選択式で転写シート付属
- ・ガイシ取付済み
- ・411形は運転台側にTNカプラー装備
- ・フライホイール付動力、新集電システム、銀色車輪採用
- ・M-13モーター採用

<特記事項>

- ・モーター特性上、M-13モーター以外を搭載する車両との併結は避けて下さい
- ・<92795><92796>は生産中止となります

●並べて楽しめる商品●



※200系は10両編成になります

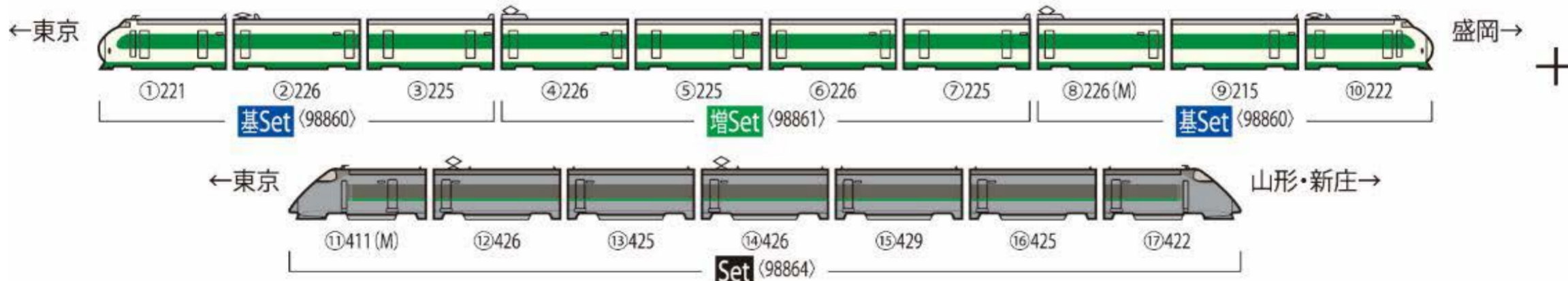
写真：マシマ・レイルウェイ・ピクチャーズ

JR 200系東北新幹線(K編成)

<別売りオプション>
室内灯:<0733>LC白色

■セット内容・編成例

●「やまびこ」東京～盛岡(1～10号車) / 「つばさ」東京～山形・新庄(11～17号車) (1999年頃) *11～17号車は福島で分割併合。



※400系は200系222形(10号車)と併結します。

品番	98864	品名	JR 400系山形新幹線(つばさ・登場時塗装)セット	セット両数	7両
発売月	2024年7月	JANコード	4543736988649	予価	¥26,620 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース

JR東日本商品化許諾済